

令和5年度山口県文化芸術審議会議事録（概要）

日 時	令和5年6月12日（月）10時00分から11時40分
場 所	共用第5会議室（県庁4F）
委員現在数	13人
出席委員	山口委員、西崎委員、鶴永委員、田村委員、中山委員、五十嵐委員、山本委員、高木委員、広田委員、有富委員、坂田委員、村元委員 以上12人出席 ≪欠席≫朝水委員 (事務局)植村審議監、山本課長、出上副課長、岡本主幹、野村主事

1 議題

山口県 新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針（素案）について

○ 素案について審議を行い、了承された。

次回の審議会（9月）で、最終案を審議する予定。

2 主な発言

- 市町が今後進める上での課題は、地域格差が大きいこと、希望する活動と用意できるメニューとの相違、予算や費用、安全確保などある。特に学校部活動は無料のため、経費がかからないよう予算を確保して欲しい。
- 活動場所には生徒が自力でいけることが望ましい。
⇒ 参加費については、一定の保護者負担は生じるが、経済的に困窮する家庭には一定の支援が必要と考えている。交通手段の確保に向けた支援も含めて国に要望している。
- 地域格差により、子どもたちが公平に文化活動等を受けられるか心配。保護者や指導者の金銭面や時間の負担が増えるのも危惧される。一方で、少子高齢化の中で、文化芸術団体の後継者不足の問題の一つの足がかりとなる。
- 学校部活動は教育課程の活動、地域クラブ活動は教育課程外の活動となるので、学校間格差が生まれぬか心配している。
⇒ 学校部活動と地域クラブ活動で、取組の進め方や実施内容に相違はあるが、格差とは捉えていない。地域にある良質な文化芸術を提供して、触れていただきたいと思っている。
- 地域の指導者がどこまで家庭の問題等に踏み込むかは難しい面があるため、生徒の相談体制については、制度の中であってほしいように思う。